

国語科学習指導案

日時：平成30年10月2日（火）5校時

学習者：留萌市立留萌中学校 第2学年1組 32名

指導者：教諭 三谷 玖未

1. 単元名・教材名

他者と生きる「ガイアの知性」

2. 単元の概要

(1) 教材観および指導観

説明的文章読解の際には、要旨をまとめたり内容を解釈するだけでなく、構成や展開について着目したり、内容を吟味したりする活動をとおして自己の思考を深めたり広げたりすることが求められている。

『ガイアの知性』では、例示や推論を用いて論理的に主張が展開されており、例示や推論の表現、主張との構成上の結び付きについて、根拠を吟味しながら読解することができる。また、筆者の述べる「攻撃的な知性」「受容的な知性」を対比させ、自らの生き方を内省することのできるテーマであり、文章内には「我々人類」「私たち」といった表現が見られ、生徒が自分自身の問題として捉えることができる内容となっている。よって、筆者の問いかける課題や結論の述べ方に着目させ、自分の考えの構築を図り、文章に表れているものの見方や考え方について、既有知識や生活体験と関連付けて自分の考えをもたせられる教材である。

そこで、本教材での学習は、説明的文章の読解をとおして形成された自己の考えを論理的に説明させることをねらいとしたい。説明的文章を読解したり、内容から得た自己の考えを表現する過程において、思考ツールの「三角ロジック」を用いることで、「根拠」と「理由」を明確に区別し、生徒は意識的に筆者の書き方や主張する内容を評価したり批評したりすることができ、論理的に文章を読み取ったり自己の考えをまとめる力や表現する力を身に付けさせたいと考える。

本教材の前には、同単元の教材である『水の山 富士山』において、思考ツールである「三角ロジック」を用いて、「根拠」「理由」「主張」の三点を基準に内容分析を行い、論の展開の仕方や考えの述べ方、段落相互の関係に着目した読解を行い、論理的に文章を読み取る素地の構築を図ることで、本教材の学びにつなげたい。

そして、単元の終末に「意見文を読み合う」学習を設定し、三角ロジックを用いて構築された論理的思考を文章表現させ、「主張」「根拠」「理由」の結び付きを実感させていきたいと考える。

(2) 生徒観

授業規律を重んじ、仲間と協力しながら学習する素地が構築されており、探究的に学習に臨むことができる。また、総合的な学習の時間等において様々な場面での話し合いや発表交流を経験しており、伝えたい内容や目的・場に応じて的確に学習した成果を発信することができる。話し合いの場面では、司会などの役割を決めていない場合でも、状況に応じて柔軟かつ円滑に課題解決に向けて話し合うことができる。素直な生徒が多く、それぞれが与えられた役割に責任をもって取り組める一方、学習の過程で生じた自分の考えについて根拠を明確にして説明することには課題が感じられる。

1学期には『日本の花火の楽しみ』において文章構造図の作成をとおした協働的な読解を経験している。ここではグループ活動を展開し、段落相互の関わりや各段落の役割を、接続表現や文末表現、キーワードを手がかりとして分析した。それぞれ基準を設けて文章構造図を作成していたが、分析の仕方や過程を説明する場面では、根拠や理由について適切な表現が見付けられず結果報告に止まる様子が見られた。このことから、本単元では読解場面で思考ツールを用いて「根拠」「理由」「主張」の3点について内容を読み取る活動や自己の考えを整理したりする活動を段階的に行うことで、論理的思考力を育成していきたいと考える。

3. 研究の視点との関わり

(1) 視点1 自己の学習を見直し、振り返る「主体的な学び」

①見直しをもつ

まず、単元の最後に「根拠や理由を明確にして自分の意見をまとめる」活動を行うことを単元の最初に伝えることで、学習のゴールを明確にする。単元を通して学んだことが表現活動に生きることを意識させることで、主体的に活動に取り組めるようにした。

また、課題の解決時に主として活用する思考ツール「三角ロジック」について、前教材学習時に具体的な活用の仕方について学ぶ機会を設定し、本教材の活動では主体的に学んだことを活用できるようにした。

さらに、話し合い活動で自己の考えを交流する場面を位置付けるとともに、話し合い活動の前に個人思考の時間を十分に確保したり、自己の考えを記述させたりすることで、単元をとおして学習者が自己の考えをもとに、見直しをもって協働的な学びへと向かえるようにしたい。

②振り返って次につなげる

単元をとおして1単位時間の終末時に学習活動を振り返るワークシートをもとに毎時間振り返りを行う。視点は、学習課題に対して、どのような学びがあったのかについて、学習内容や学びの過程から振り返られるよう、必要に応じて指導助言を行い、生徒自身が自己の考えの変容や深化が確認できるようにする。

また、「三角ロジック」に表現した内容についてグループ内で互いに評価し合う活動を行うことで、自分では気付くことができなかった考え方を新たに知ったり、自己の考えをさらに見つけ直したりすることにつなげ、学びを深めていきたい。

本時では、筆者の主張に対する自分の考えと他者の考えを交流する活動後に、深化・拡充した自分の考えを記述させることで、思考の変容を実感させ、単元の最後に行う意見文の作成につなげていきたい。

(2) 視点2 思考を広げ、確かな学びに向かう「対話的な学び」

①思考を表現に置き換える

本単元では、思考ツール「三角ロジック」を活用する。筆者の主張に対して、自分の意見をまとめていく際に、三角ロジックは「根拠」「理由」「主張」の3項目に分けられており、根拠を明確にした自分の考えが可視化されることになる。「考えはあるが、言葉にしよううまく説明することができない」という学力低位生徒や表現することに苦手意識をもっている生徒にとって、頭の中にある考えや本文を読みとった内容等、様々な情報を順番に書いていくことができる。思考が可視化されることで、自分の考えに自信をもって発表する姿を期待したい。

さらに、『水の山 富士山』で、「根拠」「理由」「主張」それぞれの定義について、実際に活用していく中で理解を促し、本時では個人思考時にスムーズに活用させ、その後の意見交流の時間を十分に保障したい。

意見交流では、個々の三角ロジックを持ち寄り、グループで交流する。それぞれの思考が図表されることで、情報の関係が見やすくなる。自分との見方や考え方の共通点や相違点に気付きやすくなり、「比較する」「評価する」といった思考も促されることになる。他者との対話的な相互評価から、自分の考え方について再度見つけ直させる。自分の考えた根拠と理由の妥当性を検証する中で、論理的に考えたり説明したりする必要性を実感できるようにさせ、学び合いの深まりにつなげていきたい。

『ガイアの知性』筆者の意見に対する考え

【根拠】人間の「知性」は、自分たちだけの安全と便利さのために自然をコントロールし、意のままに支配しようとする、いわば「攻撃的な」知性だ。環境破壊を起こし、地球全体の生命を危機に陥れている。人間は片面だけの「知性」異常に進歩させてしまった。

【理由】便利さのために原子力発電を行い、事故で放射能汚染が起こった。冷蔵庫や自動車から出るガスでオゾン層が破壊された結果、皮膚ガンの増加などの健康被害や酸性雨の問題が起こった。各国で環境保全のための取り組みが進んでいる。

【主張】筆者の意見に賛成だ。

※上図「本授業で学習者が作成する三角ロジックの例」

4. 単元の目標

筆者の考えを捉え、文章の構成や展開、表現の仕方について、根拠を明確に自分の考えをまとめることができる。

5. 単元の評価規準

国語への関心・意欲・態度	話す聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能
自然や知性に対する筆者の考え方について関心を持ち、自分の考えをもとうとしてい	異なる立場や考えを踏まえて自分の考えをまとめて話すとともに、話の論理的な構成に注意して聞き、自分の考え	書いた文章を互いに読み合い、文章の構成や材料の活用の仕方などについて意見を述べたり助言をしたりして、自	文章の構成や展開、表現の仕方について、根拠や理由を明確にして自分の考えをま	抽象的な概念を表す語句、類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句に注意し、その意味と類義や対義の対応関係を的

る。	と比較している。	分の考えを広げている。	とめている。	確に理解して読んでいる。
----	----------	-------------	--------	--------------

6. 単元の指導計画 (全10時間)

教材	時数	・主な学習内容および学習活動 □ 課題 □ まとめ 【 】 活動形態	■評価規準 () 評価方法 【 】 研究の視点
第一次 三時間 『水の山 富士山』	①	<p>・この単元の最後に「根拠や理由を明確にして自分の意見をまとめる」活動を行うことを確認する。</p> <p>筆者の主張は何かを考えながら読もう。</p> <p>・通読し、おおまかに内容を捉える。【個】</p> <p>・表現の仕方に注目して内容を整理し、筆者の主張を確認する。</p> <p>富士山を水の恩恵を与える存在として捉えている。</p> <p>・学習を振り返る。</p>	<p>読 説明的文章の要旨を捉えている。(ワークシート)</p> <p>【視点1①見通しをもつ】</p> <p>【視点1②振り返って次につなげる】</p>
	②	<p>主張・根拠・理由に注目し、内容をまとめよう。</p> <p>・小段落ごとに根拠と理由を分け、付箋を使って内容をまとめる。【個】→【班】</p> <p>・思考ツール「三角ロジック」について学ぶ。</p> <p>・学習を振り返る。</p>	<p>読 「根拠」「主張」「理由」を的確に分けている。(ワークシート・観察)</p> <p>【視点2①思考を表現に置き換える】</p> <p>【視点1②振り返って次につなげる】</p>
	③	<p>・三角ロジックを用いて『水の山 富士山』の内容を整理する。【個】→【班】</p> <p>筆者は「水の山」と「恩恵」を結び付けて、自分の考えを述べている。</p> <p>・学習を振り返る。</p>	<p>読 「根拠」「主張」「理由」を内容や構成に注目して整理している。(ワークシート・観察)</p> <p>【視点2①思考を表現に置き換える】</p> <p>【視点1②振り返って次につなげる】</p>
第二次 三時間 『ガイアの知性』	④	<p>筆者の主張は何かを考えながら読もう。</p> <p>・通読し、おおまかに内容を捉える。【個】</p> <p>・表現の仕方に注目して内容を整理し、筆者の主張を確認する。</p> <p>「真の意味のガイアの知性」に進化する必要性を主張している。</p> <p>・学習を振り返る。</p>	<p>読 説明的文章の要旨を捉えている。(ワークシート)</p> <p>【視点1①見通しをもつ】</p> <p>【視点1②振り返って次につなげる】</p>
	⑤	<p>筆者の主張に対する自分の意見をまとめよう。</p> <p>・文章の構成や展開、表現の仕方に注目して内容を整理する。【個】→【班】</p> <p>・筆者の考え(根拠・主張)に対する自分の意見(理由・主張)をもつ。【個】</p> <p>・本文から、自分の意見の根拠となる部分を選択する。【個】</p> <p>・学習を振り返る。</p>	<p>読 「根拠」「主張」「理由」を的確に分け、内容を整理している。(ワークシート・観察)</p> <p>読 賛否を明らかにし、整合性のある根拠を本文から選択している。(ワークシート・観察)</p> <p>【視点2①思考を表現に置き換える】</p> <p>【視点1②振り返って次につなげる】</p>
	⑥ 本時	<p>・筆者の考えに対する自分の意見を三角ロジックにまとめる。【個】</p> <p>・三角ロジックをもとに、考えを交流し、お互いに評価し合う。【班】</p> <p>根拠や理由を明確にしたり、実体験や今まで学んだことを取り入れたりすると説得力が高まる。</p> <p>・学習を振り返る。</p>	<p>読 「根拠」と「主張」を繋げる「理由」を自分の生活体験や既有知識から導き出して記入している。(ワークシート・観察)</p> <p>【視点2①思考を表現に置き換える】</p> <p>【視点1②振り返って次につなげる】</p>
第三次 二時間 話を聞いて自分の考えと比べる	⑦	<p>スピーチを聞き合い、自分の考えと比べよう。</p> <p>・作成した三角ロジックをもとにスピーチ原稿を作成する。【個】</p> <p>・学習を振り返る。</p>	<p>話・聞 相手を意識して効果的に伝える工夫をしている。(観察)</p> <p>【視点1①見通しをもつ】</p> <p>【視点1②振り返って次につなげる】</p>
	⑧	<p>・発表交流をする。</p> <p>自分の考えとの相違点や共通点に注目すると、考えが広がったり深まったりする。</p> <p>・学習を振り返る。</p>	<p>聞 積極的に話し合いに参加している。(観察・ワークシート)</p> <p>話・聞 相手を意識して効果的に伝える工夫をしている。(観察)</p> <p>【視点1②振り返って次につなげる】</p>
第四次 意見文を読み合う	⑨	<p>意見文を読み合い、自分の考えを広げよう。</p> <p>・振り返りシートや作成した三角ロジックをもとに、「序論-本論-結論」の構成を用いて、筆者の主張に対する考えを整理する。【個】</p> <p>・根拠や理由を明確にして意見文を書く。【個】</p> <p>・学習を振り返る。</p>	<p>書 根拠や具体的な理由を選択し、ワークシートに記入している。(ワークシート)</p> <p>書 「序論-本論-結論」の構成を用いて意見文を書いている。(意見文)</p> <p>【視点1②振り返って次につなげる】</p>

二 時 間	⑩	<p>・意見文を読み合う。【班】→【全】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>根拠や理由に自分の体験や他者が共感できる事例を挙げることで、説得力のある文章を書くことができる。</p> </div> <p>・学習を振り返り、単元の最初の振り返りと比較する。</p>	<p>積極的に関わり合い参加している。(観察・ワークシート)</p> <p>【視点1②振り返って次につなげる】</p>
-------------	---	--	---

7. 本時の指導計画

(1) 本時の目標

本文から読み取った内容をもとに、筆者の考え方について根拠や理由を明確にして自分の意見をまとめることができる。

(2) 本時の評価規準

文章に表れているものの見方や考え方について、知識や体験と関連付けて自分の考えを表現している。
(読むこと)

(3) 本時の展開 (6/10)

過程	○主な学習活動 ・予想される生徒の発言等	◇教師の主な働きかけ *留意点	■評価規準 (評価方法) ▲支援を必要とする生徒への手立て
導入 (5)	<p>○前時までの活動を振り返る。</p> <p>・『ガイアの知性』の内容整理を行った。</p> <p>・筆者の考えに対する自分の意見を持ち、本文から根拠となる部分を選択した。</p>	◇内容を想起させる。	
展開1 (15)	<p>○学習課題の確認</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0; text-align: center;"> <p>筆者の主張に対する自分の意見をまとめよう。</p> </div> <p>○提示された三角ロジックの例をもとに、改善点を交流する。</p> <p>【改善点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「実体験から考えたことを述べる。」 ・「今までの学習でみんなが得ている情報と結びつけて述べる。」 ・「情報元を明確に示す。」 ・「一般常識と結びつける。」 など <p>○三角ロジックを用いて自分の意見をまとめる。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>〈賛成した場合に予想される理由〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・温室効果ガスの影響でオゾン層が破壊され、紫外線から守られない。 ・木を伐採し、自然をこわしている。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>〈反対した場合に予想される理由〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・科学技術を生かした環境保全が既に行われている。 ・自然を生かした発電に移行しつつある。 </div> </div>	<p>◇不備のあるモデルを示し、より良い理由の書き方を考えさせる。</p> <p>◇学習者から挙げられなかったものについては、授業者から示す。</p> <p style="text-align: center;">*下図の理由は一例</p>	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>視点2①【思考を表現に…】 自分の考えを可視化することで、情報が整理され、思考の明確化と自信をもった発表につなげることができる。</p> </div> <p>■「主張」「根拠」と整合性のある理由を、既有知識をもとに記入している。(ワークシート・観察)</p> <p>▲根拠からどのようなことを連想したのか、想起させる。</p>
展開2 (20)	<p>○作成した三角ロジックを使い、発表交流を行う。(班)</p> <p>○発表者ごとに作成された三角ロジックの内容を評価し合う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>〈評価の観点〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・根拠と実体験と結びつけた内容となっているか。 ・理由として信頼性があるか。 ・納得できる内容か。……………など </div> <p>○評価された内容や改善点を三角ロジックに赤ペンで書き込んでいく。</p>	<p>◇三角ロジックをもとに根拠と理由を明確にして伝えるよう指示する。</p> <p>◇発表と考察の時間を一人ずつ設ける。</p> <p>◇交流前と交流後の違いが一目でわかるように赤ペンで記入させる。 ※必要に応じて付箋を活用させる。</p>	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>視点2①【思考を表現に…】 可視化された情報の関係が見やすい思考ツールを用いて学び合いをすることで、比較や評価の思考を促すことができる。</p> </div> <p>▲三角ロジックをもとに「根拠」「理由」「主張」の順に説明するよう支援する。</p> <p>▲付箋を該当箇所に貼らせる。</p>

終末 (10)	○本時の活動のまとめと次時の活動の確認を行う。		
	<p style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">根拠や理由を明確にしたり，実体験や今まで学んだことを取り入れたりすると説得力が高まる。</p> <p>○振り返りをワークシートに記入する。(個) ・三角ロジックをもとに，話し合いをとおした思考の深まりや気づきについて記入する。</p>	<p>※単元の最後に今回作成した三角ロジックを用いて意見文を書き，交流することを確認する。</p> <p>◇話し合いをとおして変容した部分がないか，振り返らせる。</p>	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; width: fit-content;"> <p>視点2①【振り返って…】 どのような学びがあったのか学習内容や学びの過程から振り返り，自己の考えの変容や深化を確認できる。</p> </div> <p>▲話し合いの前後での相違点に着目させる。</p>

『ガイアの知性』ワークシート 二年 組 氏名

課題
筆者の考え

根拠

理由

主張

『ガイアの知性』振り返りシート 二年 組 氏名

時間	振り返り
1 まとめ 課題	
2 まとめ 課題	
3 まとめ 課題	